

【いのちと健康を守る安全・安心戦略】

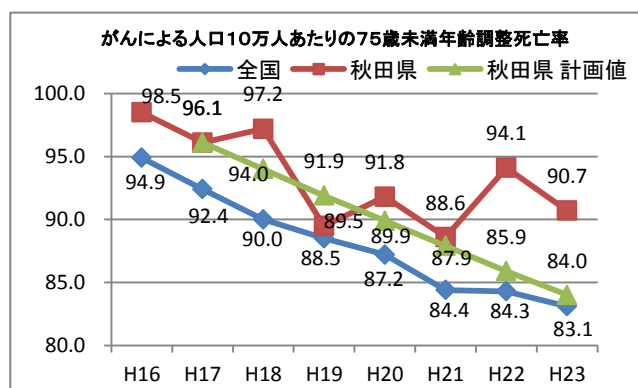
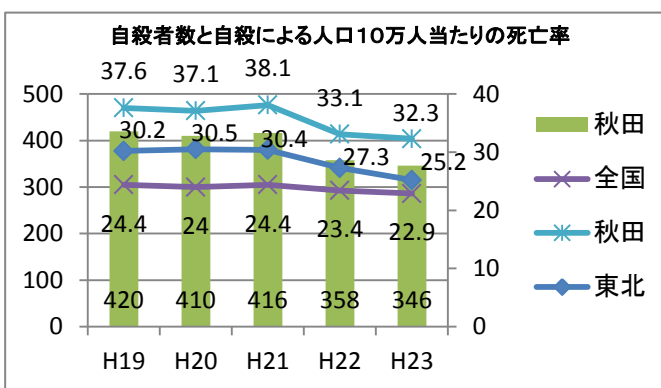
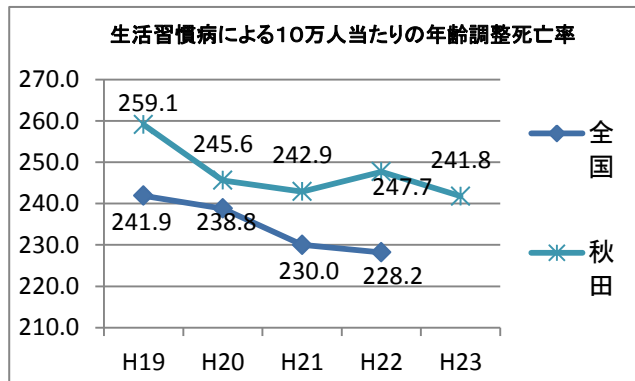
●戦略の目標

◆生活習慣病(がん、脳血管疾患、心疾患及び糖尿病)による人口10万人当たり年齢調整死亡率

	基準値(H20)	H22	H23	H24	H25
目標値	245.6	237.6	235.2	232.8	230.5
実績値		247.7	241.8	—	—

◆自殺による人口10万人当たり死亡率

	基準値(H20)	H22	H23	H24	H25
目標値	37.1	35.2	34.6	34.1	33.5
実績値		33.1	32.3	—	—



戦略の達成度に関する分析

○現状

本県の「生活習慣病による10万人当たりの年齢調整死亡率」は、平成22年に一時増加したものの、平成23年は平成21年と比較して1.1減少している。

「自殺による人口10万人当たりの死亡率」は、平成21年から2年間で5.8減少しており、全国、東北と比べても減少幅は大きくなっている。

※「生活習慣病による10万人当たりの年齢調整死亡率」は、全国では平成20年から2年間で10.6減少

※「自殺による人口10万人当たりの死亡率」は、平成21年から2年間で全国では1.5減少、東北では5.2減少

○増減の要因

本県では、減塩対策などの食生活改善や、がん予防の啓発をはじめ、生活習慣病の予防に向けた様々な施策を推進してきた。こうした取組により、生活習慣病による年齢調整死亡率が減少している。

また、民・学・官の連携による地域が一体となった自殺予防の取組など、県民運動としての自殺予防対策の展開を図ってきた。こうした取組の結果、自殺による死亡率が減少している。

○今後の本県の見込み

自殺については2年連続で自殺者が減少しており、平成25年度の目標達成は可能と考えている。

また、生活習慣病による年齢調整死亡率については、胃がん検診無料クーポン券の配布など、がん検診受診率の向上に向けた取組や、県民の減塩意識の浸透などを着実に進めることにより、平成25年度の目標達成を目指したい。